
家屋倒壊

土屋 防災ニュース

2026.9 Vol.21
Writer：Kaori Hara
Yumiko Komoto

ジャパン・レジリエンス・アワード 2023

なぜ「9月1日」が防災の日？由来を知り、今日から備えを始めよう



「なぜ？」を知ることは、日頃の備えを見直す第一歩です。毎年9月1日は「防災の日」。
由来となった過去の災害から何を学び、私たちは今日どう行動すべきでしょうか。

過去を振り返る…



1923年9月1日　関東大震災

10万人を超える尊い命が失われ、
日本の防災のあり方を大きく
見直すきっかけとなりました。



1959年　伊勢湾台風

戦後最大級の台風災害が発生し、
多くの命が失われました。



これらの教訓から、「災害が起きてから
ではなく、日頃から備えることの大切さ」
を広く伝えるため、9月1日が「防災の日」
と制定されました。

防災の日は、“思い出す日”ではなく、“行動する日”



「いつかやろう」と思っていた備えを、
「今日やってみよう」に変える。
それが、防災の日の本当の意味です。
防災は特別な日にだけ行うものではありません。

「防災の日」は 一歩を踏み出すきっかけの日

今日の防災アクション

今日、できることを一つ始めてみませんか。

- ☐  非常食・飲料水の消費期限を確認する
- ☐  スマートフォンの緊急地震速報・緊急速報メールの設定を確認する
- ☐  家族と災害時の連絡方法・集合場所を話し合う
- ☐  最寄りの避難所まで実際に歩いてみる
- ☐  自宅や職場周辺のハザードマップを確認する

でも、実は「防災の日」は、１つではない

防災とボランティアの日（１月１７日）

目的：災害時のボランティア活動や防災・減災への関心を高める。
背景：１９９５年１月１７日に発生した阪神・淡路大震災を契機に、ボランティア活動の重要性が広く認識され、制定されました。

水防の日（５月１日）

目的：洪水や高潮などの水害から生命・財産を守る「水防」の重要性を広く知ってもらう。
背景：これから梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、水害への備えを強化するために定められています。

火山防災の日（８月２６日）

目的：火山災害への関心を高め、噴火に備える意識を深めること。
背景：１９１１年（明治４４年）８月２６日、長野県の浅間山に日本初の火山観測所が設置されたことに由来し、令和６年度から制定されました。

津波防災の日（１１月５日）

目的：津波から命を守るため、早期避難などの防災意識を高めること。
背景：１８５４年１１月５日の安政南海地震による津波に際し、住民を避難させた「稲むらの火」の逸話にちなんで制定されました。
主な活動：津波避難訓練、避難場所・避難経路の確認、津波防災の啓発など。

今月の記号



「大規模な火事」のピクトグラムは、火災が広範囲に延焼し、避難が必要となるような大きな火災への警戒を示しています。
関東大震災では、各地で発生した火災が大規模な市街地火災へと拡大し、更に「火災旋風」という猛烈な炎の渦を引き起こしました。

自社開発 安否確認システム－V`jica(ヴジカ) を運用中

職員やクライアントの迅速かつ正確な安否確認を実現するため、弊社では独自開発のシステムV`jica（ヴジカ）を導入し、PDCAサイクルに基づく訓練と実務運用を継続的に実施しています。

【土屋防災委員会】の エックス をフォローお願いします！

アカウント登録をして、防災に関する様々な情報をGET‼